

令和8年5月29日

学校だより



6月号

横浜市立美しが丘東小学校
学校長 野澤 聡子

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/utsukusigaokahigashi/>



『One for all all for one
～美東の主演は君だ～』



副校長 我妻 まゆみ

今年度の運動会のスローガンは、一人ひとりが輝くことをめざして掲げられています。当日の様子は、みなさんにもご覧いただくとして、ここでは、それまでの「かがやき」をお伝えしたいと思います。教室や廊下、体育館などで「見どころ」を尋ねたところ、高学年では「ソーラン節の迫力、どっこいしょの掛け声、最後のきめポーズ」などの声があがりました。動きを合わせながらも、各自が力いっぱいの演技を披露してくれることでしょう。中学年では、「フラッグをピシッと動かす、好きな歌にのせて楽しく踊る、綱引きの大変さ」などを賑やかに教えてくれました。「自分は選手ではないけど、リレーを見てもらいたい。」という子もいました。低学年では、「ポンポンがきれいなところ、みんなで踊るところ、玉を一個でも入れられるようにすること」などの中で、「笑顔」と答えた子がいました。一年生でした。初めての小学校での運動会、どうかたくさんの笑顔が皆さんに届けられますように……。最後に、あまり運動は得意ではないと言っていた子たちの「徒競走で一番になれないと思うけど、一生懸命走ればいいと思う。」「元気な姿がいちばん!」という言葉があったことを加えておきたいと思います。そう、一人ひとりが主演の運動会です。これまで体調管理や持ち物の手配等でご協力いただいた保護者のみなさんのお力に、また、励ましのお声掛けに感謝を申し上げつつ、子どもたちともに、全職員全力で当日を迎えたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

さて、新学年がスタートして二か月余り、そこには困っている子どもたちをリードし、時には縁の下の力持ちとなって寄り添う子どもたちの姿がありました。横断歩道で下の学年の子に合わせて信号を待ったり、蛇口を回し過ぎて水浴びのようになってしまった子のお世話をしたり、ほうきに手を添えて掃除の仕方を教えたりする場面がありました。また、一年生の弟や妹の手を引いて登校したり、教室へ寄って様子を見守ったりするお兄さんお姉さんも見かけました。誰に言われたわけでもないかもしれませんが、そんな自然な他を思いやる心が育っていることは、嬉しい限りです。そんな姿をきちんととらえて、学びへ導いていく学校でありたいと思う二か月でした。



たくさん
咲きますよ
うに。



おいしい野菜になりますように。